

富山県がコロナ感染対策の「配置薬PRチラシ」を製作 日刊紙34万部に折込配布 店舗業者からは異論なく

(一社)日本置き薬協会

配置薬ってなあに？

～富山で生まれた「先用後利」のしくみ～

配置薬のシステム



先に配置員が医薬品を届けます。この時点では保証金、前金などのお金は一切かかりません。

身近に置いておき、必要な時に使用してください。

後日、使用した分の代金の集金、補充を配置員が行います。使っていない場合は支払いは不要です。

- 配置箱には、通常、解熱薬、風邪薬、胃腸薬などが用意されています。
- 身分証を付けた配置員がお伺いします。
- お薬に関する相談もできます。
- 絆創膏、包帯などもご用意しています。

お問い合わせ 一般社団法人 富山県薬業連合会
TEL 0120-598-189 URL <https://www.toyama-kusuri.jp/>
(平日9:00～17:00)

● ホームページ上の「配置薬のお申し込み」からご依頼ください。
お申し込み受付後、配置販売業者がご連絡します。

富山県くすり政策課は新型コロナウイルスに感染した場合の自宅療養対策として、配置薬の利用を呼び掛ける「配置薬PRチラシ」を作成した。9月初旬よりホームページで公開していたが、9月15日より日刊紙の折込チラシとして計34万世帯に配布された。「配置薬PRチラシ」はA4サイズの裏表カラー印刷。同県日刊紙の北日本新聞、富山新聞をはじめ、読賣、朝日、毎日、日経、北陸中日の7紙に折込まれ、15日の富山市を皮切りにエリア別に順次行い、21日までに全15市町村で行われた。富山県ワクチン接種センターや厚生センター、富山県薬業連合会、各配置販売業者を通じての配布も行われている。

21日に更新されたくすり政策課ホームページでは、「コロナに感染する、その前に自宅療養に備えて配置薬を置きませんか？」のタイトルで、「急な体調不良で、おうちにお薬がなく困ったことはありませんか？ また、新型コロナウイルス感染症にかかり自宅療養になると、薬を買いに行くこともままなりません。病気になる前に、あらかじめ配置薬があれば万が一の時にも安心です。この機会に、配置薬の良さを見直してみませんか」と掲載されている。

配置薬の問い合わせや申し込みについては、くすり政策課ではなく、ホームページに掲載された本企画の協力事業者一覧（14事業者）の中から消費者が配置業者を選び、直接連絡して貰いたいとしている。

またチラシでは富山県薬業連合会が受けている。同会のホームページには、「配置薬のお申込み」とのバナーがあり、配置薬設置希望者がインターネットで同会へ申し込むようになっている。申込み時に配置業者を指定することはなく、同会にて選定された業者が二週間以内に届けるとしている。

上記内容は、配置薬業界紙（薬日新聞 第4126号 9月27日号）より一部転載。

店舗業界から異論は出ぬものか、と心配するが、さすが配置薬の富山県、ほとんどないとのことである。なお製作費、新聞折込費は、県の新型コロナウイルス感染症対策費が当てられたとの事。

＼コロナに感染する、その前に／

お家に配置薬を 置きませんか？



発熱時にいつもの薬があると安心！

胃腸薬や風邪薬などの常備薬も

災害時の備えにも

「お薬があっただけよかった！」

急な体調不良で、お家に薬がなく困ったことはありませんか？
また、新型コロナウイルス感染症にかかり自宅療養になると、薬を買いに行くこともままなりません。

病気になる前に、あらかじめ配置薬があれば万が一のときにも安心です。
この機会に、配置薬の良さを見直してみませんか。